

昨年1月1日付で、古倉みのり理事長・院長の後任として院長に就任致しましたが、昨年1年間は新型コロナに明け、あっという間に過ぎ去った1年間でした。令和3年も、令和2年春の「第1波」と夏の「第2波」に続き、「第3波」の様相を呈しながら迎えることとなりました。当院の周辺でもクラスターが発生し、水際までコロナの脅威を受けて参りましたが、国や県、保健所よりご指導を賜りながら、日々コロナ感染対策を講じ、また、地域住民の皆様のご理解とご協力を頂きながら、お陰様で無事昨年1年間、医療を継続することができましたことを、心より感謝申し上げます。

さらにコロナ禍におきまして、病院機能の増強、治療・療養環境のさらなる充実のため、令和2年5月より、増築工事を開始させていただきましたが、12月には無事竣工できましたことを、御礼申し上げます。

新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」は多くの国民に受け入れられ、その遂行により相応の成果が得られているように思います。令和3年は、昨年のコロナ対策の教訓を生かし、マンネリ化することなく、また息切れすることなく、「新しい生活様式」を、日々の生活に浸透させていくことが大切であると思います。病院でも、オンライン面会やAI問診などを積極的に取り入れ、病院として「新しい生活様式」を推進して参ります。さらに、コロナ感染のみならず、災害にもしっかり対応し、事業継続の遂行ができるように、事業継続計画を立て準備して参ります。

これからも、安心・信頼・満足を得られる病院づくりを目指して、職員一同努力して参ります。地域の皆様の一層のご指導・ご鞭撻を賜りますよう、どうかよろしくご願い申し上げます。

院長 山本寛